

令和元年度第1回自動車整備技能登録試験〔実技試験〕

第99回〔二級ジーゼル自動車〕

令和2年1月19日

22 問題用紙

受験番号	受験地	回数		種類		番号			氏名	※
		9	9	2	2					

※試験説明で  
指示された  
者のみ記入

【試験の注意事項】

1. 受験票又は受付番号票に記入してある受験番号及び氏名を、該当欄に思考席で記入してください。
2. 各問題の確認結果、測定結果及び解答は、問題用紙の該当欄に記入してください。ただし、思考席では記入しないでください。
3. 故障を設定している問題については、問題中に特段の指示がない限り、重複故障はないものとします。
4. 試験中、各部品は、台上で点検等を行ってください。
5. 問題用紙の余白部分には、自由にメモすることができます。
6. 試験終了後、この問題用紙を回収します。

【不正行為等について】

1. 携帯電話等の電子通信機器類は、試験会場に入る前に必ず電源を切って、カバン等に入れておいてください。
2. 試験時間中(試験会場内)において、携帯電話等の電子通信機器類を使用した場合は、不正の行為があったものとみなし、試験を停止し、又は、その試験を無効とすることがあります。
3. 登録試験に関して不正の行為があったときは、当該不正行為に関係ある者について、その試験を停止し、又は、その試験を無効とすることがあります。

この場合において、その者について、3年以内の期間を定めて登録試験を受けさせないことがあります。

問題 1 台上にある、ピストン及びシリンダ・ライナについて、次の各問に答えなさい。

なお、必要事項は、台上の留意事項に示してあります。測定は、台上にある計測機器を用いて行いなさい。

問 1 シリンダ・ライナの内径を下表の項目に従って測定しなさい。

測定値は、小数点以下第 2 位(小数点以下第 3 位を切り捨て)まで記入しなさい。

次に、留意事項に示す限度値から良否を判定し、何れかを○印で囲みなさい。

測定項目	箇所	方向	測定値	判定
シリンダ・ライナ内径	中	直角	mm	良・否
		軸	mm	良・否

問 2 ピストン・クリアランスを求め、その値を下表の該当欄に、小数点以下第 2 位(小数点以下第 3 位を切り捨て)まで記入しなさい。

次に、留意事項に示す基準値から良否を判定し、何れかを○印で囲みなさい。

項目	値	判定
ピストン・クリアランス	mm	良・否

問題 2 台上にあるリレーを使用したランプ点灯回路について、次の各問に答えなさい。

なお、必要事項は、台上の留意事項に示してあります。測定は、台上にある計測機器を用いて行いなさい。

問 1 ランプ点灯回路のスイッチを操作したときの、バルブの点灯状態を確認し、結果について次の三つの中から一つを選んで、解答欄に番号を記入しなさい。

1. 両方とも不灯
2. 片側が不灯
3. 左右で明るさが異なる

解 答

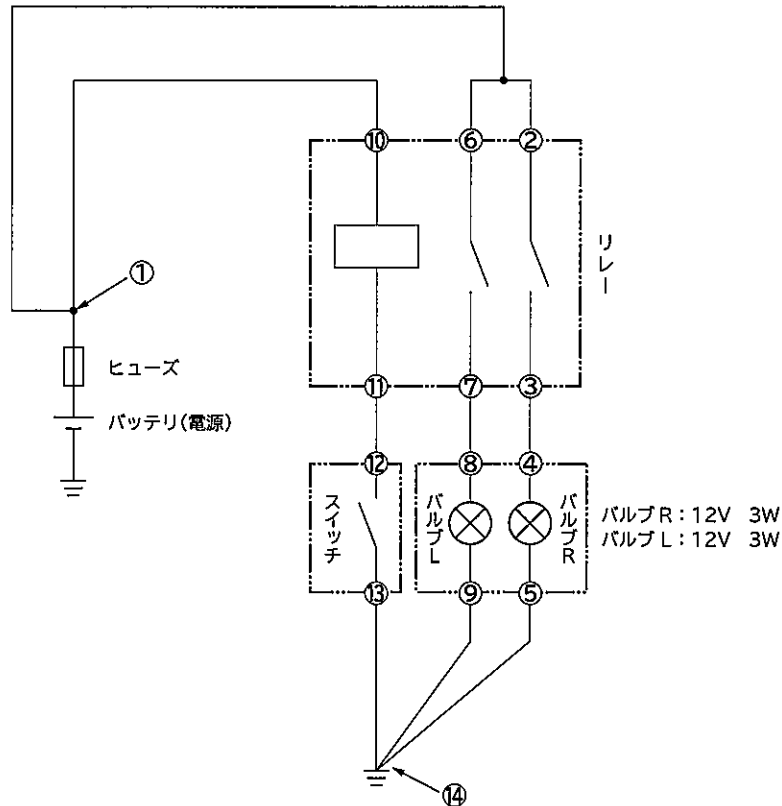
問 2 ランプ点灯回路のスイッチを操作したときの、1～13の各測定端子と測定端子14間の電圧を測定し、測定値を下表の該当欄に小数点以下第1位(小数点以下第2位を切り捨て)まで記入しなさい。

測定端子	測定値		測定端子	測定値	
	OFF	ON		OFF	ON
端子 1	V	V	端子 8	V	V
端子 2	V	V	端子 9	V	V
端子 3	V	V	端子 10	V	V
端子 4	V	V	端子 11	V	V
端子 5	V	V	端子 12	V	V
端子 6	V	V	端子 13	V	V
端子 7	V	V			

問 3 測定結果から、不具合箇所を絞り込み、不具合状態を特定して解答欄に記入しなさい。  
 不具合箇所の解答は、下表の記入例に沿って、「配線」と判断した場合には、回路図の中の番号を選んで記入し、「部品」と判断した場合には、名称の何れかを○印で囲みなさい。  
 また、不具合状態の解答は、該当するものを一つ選んで○印で囲みなさい。

		不具合箇所	不具合状態
記入例	配線の場合	端子 3 と 端子 4 の間	断線 ・ 抵抗大 ・ 短絡(地絡)
	部品の場合	リレー ・ スイッチ バッテリー(電源)	接触不良 ・ 断線 ・ 内部短絡
解答	配線の場合	端子 と 端子 の間	断線 ・ 抵抗大 ・ 短絡(地絡)
	部品の場合	リレー ・ スイッチ バッテリー(電源)	接触不良 ・ 断線 ・ 内部短絡

(ランプ点灯回路図)



問題 3 台上にあるブレーキ・チャンバについて、次の各問に答えなさい。

なお、必要事項は、台上の留意事項に示してあります。測定は、台上にある計測機器を用いて行いなさい。

問 1 留意事項を参照して、ダイヤフラムを交換し復元しなさい。

問 2 プッシュ・ロッド・ガイドからベースの先端部までの「A」の寸法を求め、その値を下表の該当欄に小数点以下第1位(小数点以下第2位を切り捨て)まで記入しなさい。

次に、留意事項に示す基準値から良否を判定し、何れかを○印で囲みなさい。

項 目	値	判 定
プッシュ・ロッド・ガイドから ベースの先端部までの「A」寸法	mm	良 ・ 否

問 3 続いて、このブレーキ・チャンバを右前輪に装着した場合に推定される状態について、適切なものを一つ選び、解答欄に番号を記入しなさい。

1. 異常は発生しない。
2. 右前輪のブレーキの引きずりが考えられる。
3. 右前輪の制動力の低下が考えられる。
4. 右前輪のブレーキのタイミング遅れが考えられる。

解 答